

# 平成28年度 文書館評価

## 評価項目1 文書館の利用 県民の共有財産である文書館の収蔵資料の利用,活用を図ります。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B/A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	25年度	26年度	27年度	28年度					
1 登録者数	1,905	1,931	2,061	2,100			<p>利用点数とレファレンス件数が減少していることから、文書館の存在や利用方法、収蔵資料への関心を高める努力を続けていく必要があります。</p> <p>引き続き様々な広報活動により文書館の存在や活動の周知を行い、利用促進を図ります。</p> <p>ホームページや検索システムの充実を図り、館の利用にさらに結び付くよう工夫をしていきます。</p> <p>各項目とも27年度実績を参考に目標値としました。</p> <p>参考指標にも目標値を設定しました。</p> <p>27年度については特殊事情(他館における共催事業を当館入館者としても計上)があり入館者数が急増しましたが、28年度もなお、27年度の入館者数をベースに目標値を定めました。</p> <p>ホームページアクセス数は、対前年度比約10%増を目指します。</p>	<p>引き続き、魅力ある展示、講座を設けるとともに、彩の国だよりでの広報をはじめ、県のホームページのイベントカレンダーやスマートフォンアプリ(まいたま)など多様な手段を用いて積極的な情報提供を行います。</p> <p>館の活動などを適宜お知らせできるようホームページの充実を図るとともに、より使いやすい検索システムとなるようシステムの改修を行います。</p> <p>講座、研修会参加者に対して、文書館利用申請書を配布するなど閲覧者以外の方や県職員にも積極的に文書館をPRしていきます。</p>	
2 閲覧者数	4,006	4,190	4,629	4,700					
3 利用点数	34,606	34,086	35,587	35,600					
4 レファレンス件数	1,293	1,056	670	700					
5 検索システムアクセス件数	77,382	77,750	100,912	101,000					
参考) 利用者数	18,322	17,929	20,169	20,169					
参考) ホームページアクセス数	40,363	75,102	105,185	115,000					

## 評価項目2 行政文書の公開 歴史的・文化的に価値ある行政文書を収集・整理し公開することにより、県政の記憶装置として県民の要望に応えます。

測定項目	過年度実績 (公開累積数で表示)			目標値A	実績値B	達成率 B/A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	25年度	26年度	27年度	28年度					
行政文書の公開点数	152,331	160,985	170,186	175,186			<p>引き続き、完結後10年を経過した文書及び歴史的資料の移管手続きを滞りなく進めることが必要です。</p> <p>完結後30年又は50年後に公開を予定して収集した歴史的資料に係る利用協議も、円滑に進める必要があります。</p> <p>新たに収蔵する文書の整理や既収蔵文書の見直しを行い、5,000点の新規公開を目標とします。</p>	<p>不開示情報記載のため非公開とされている歴史的資料について、完結後30年又は50年後の定期的な見直しにより、利用制限の理由に該当しなくなったと判断できた場合は利用協議を行い、公開の促進を図ります。</p> <p>研修や庁内広報等により県職員の公文書に対する意識啓発を図ります。</p>	

評価項目3 古文書の公開 埼玉県に関する歴史的・文化的に価値ある古文書の整理・公開を促進して県民共有の財産とし、県民の要望に応えます。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B / A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の実績	次年度以降に向けた改善点
	25年度	26年度	27年度	28年度					
古文書の公開点数	401,417	411,692	421,617	429,617			引き続き、未整理資料の整理と目録公開に向けた作業を進める必要があります。  未整理分古文書の整理と目録公開(8000点)を目指します。	未整理文書を計画的に整理し、目録・公開作業を推進します。  文書群の全体像を示すため、すでに刊行されている古文書目録のうち、目録に収録されずに一部未整理として残っている文書の整理を進めます。  次年度以降の目録に収録する未整理文書について計画を立案します。	
報道写真の公開点数	58,100	76,363	107,417	135,417			引き続き、計画的な公開を目指します。  28年度は新たに昭和43年1月～昭和44年12月分34,000点の公開を目指します。	埼玉新聞社から寄贈を受けた、同社撮影の戦後報道写真の整理を順次進めます。	

評価項目4 地図資料の公開 埼玉県に関わる地図資料を収集して、整理、公開を進め県民共有の財産として公開します。

測定項目	過年度実績 (公開累積数で表示)			目標値A	実績値B	達成率 B / A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の実績	次年度以降に向けた改善点
	25年度	26年度	27年度	28年度					
地図資料の公開点数	73,616	74,917	76,929	78,000			地図については、保管スペースの確保という点を念頭に、資料の収集範囲や閲覧対応について検討を行う必要があります。  新たに収蔵する地図の整理や見直しを行い、約1,000点の新規公開を目標とします。	県作成地図は、紙地図・電子地図の発行状況を把握し、収集資料の確保に努めます。  市町村の協力を得て、市町村作成地図の収集に努めます。	

評価項目5 史料叢書の刊行及び県史編さん資料の整理公開 郷土埼玉に関する貴重な史料を刊行するとともに県史編さん資料を整理し公開します。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B/A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	25年度	26年度	27年度	28年度					
1 史料叢書の刊行	埼玉県史料叢書12中世新出重要史料二	第17巻埼玉県布達集一	第18巻埼玉県布達集二	第18巻埼玉県布達集三			引き続き、県史編さん資料の整理・公開を進めるとともに、「史料叢書19巻」の計画的な刊行を目指します。  埼玉県史料叢書18「埼玉県布達集三」を刊行します。	既存の刊行計画に基づき「埼玉県史料叢書」の刊行を進めます。  将来的な編さん作業については、編集企画委員会を2回開催し、有識者から意見をいただいた上、今後の刊行継続に向けた検討を行います。	
2 県史編さん資料(写真資料等)の公開点数(公開累積数で表示)	13,761	15,761	18,479	20,000			県史編さん資料(写真資料等)の整理公開を進め、累計20,000点以上とします。		

評価項目6 収蔵資料の保存 県民共有の財産である古文書・行政文書などの資料を後世に伝えていくため、良好な状態で保存し、収蔵資料の劣化を防止します。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B/A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	25年度	26年度	27年度	28年度					
1 古文書：修復(枚)	134	114	116	150			引き続き、劣化のため公開が困難な古文書の把握に努め、補修作業を進める必要があります。  古文書の修復・複写本の作成・古文書のマイクロフィルム化は前年とほぼ同じ目標値とします。  彩の国デジタルスキップステーションにおける埼玉新聞社撮影戦後報道写真のデジタル画像の公開を計画的に実施し、28年度は30点のデジタル画像の追加提供・公開を目標とします。	古文書の修復をすることにより閲覧できる状態にし、利用者の利便性を図ります。  埼玉新聞社撮影戦後報道写真のデジタル画像データを彩の国デジタルスキップステーションへ提供し、同所で公開します。	
2 古文書：報道写真デジタル化(点)	736 (累計)	766 (累計)	796 (累計)	826 (累計)					
3 行政文書：重要文化財指定文書の複製化(冊)(コマ)	235 (99,638 コマ)	190 (77,654 コマ)	151 (71,202 コマ)	140 (54,000コマ)			新規の入札参加業者を開拓し、契約に競争性を持たせるよう努めながら、次年度以降も計画に沿った複製化を推進する必要があります。  複製化予算の変動を反映させた目標値としました。  限られた予算の範囲内で、撮影コマ数、原本簿冊とものできる限りの増加を目指します。	電子データに変換し、閲覧利用に供することにより、原本の利用を制限し、保存と利用の調整を図ります。	

評価項目7 文書館の普及、連携、協力活動 行政文書・古文書・地図等の収蔵資料を活用した講座・講習会及び子ども体験事業を通じて、県民の学習意欲と理解を深め、文書館の利用を促します。

測定項目		過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B/A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の実績	次年度以降に向けた改善点
		25年度	26年度	27年度	28年度					
1 講座、普及事業	回数	32	32	32	32		過年度のアンケート結果を生かし、県民のニーズにあった普及・連携事業の開催に努めることが必要です。  児童生徒の学力向上の一助となるよう、引き続き、教員向けの研修会や学校への講師派遣活動を積極的に行うことが必要です。			
	人数	1,473	1,313	1,293	1,400					
2 学校との連携事業	回数	40	40	45	45		大学生等の受け入れ機会を増やすなど、学校連携の強化が求められます。  ボランティア活動については、参加回数だけでなく、活動に対する満足度の数値化を検討する必要があります。			
	人数	803	1,156	1,323	1,323					
3 ボランティア活動 古文書補修	回数	40	39	40	40		各種事業の回数や参加募集人数については、昨年度実績並の目標値としました。  補修ボランティアの活動回数は昨年度と同じですが、ボランティアとしての登録者数が減少しているため、延べ人数については実態に合わせて設定しました。			
	延人数	376	340	221	376					
4 ボランティア活動 子ども事業	回数	12	12	12	12					
	延人数	48	63	105	78					

評価項目8 展示 収蔵資料を利用・活用してもらう導入部分として常設展示、コーナー展示をそれぞれ開催します。

測定項目		過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B/A	前年度からの課題 その他 目標値の設定理由	28年度の実績	次年度以降に向けた改善点
		25年度	26年度	27年度	28年度					
年間観覧者数(人)		10,135	8,755	10,283	10,283		文書館の改修工事・休館が計画されていることもあり、文書館単独事業に加え、今後は他館や市町村との連携・共催事業の企画・充実を進めていく必要があります。  目標値は、前年度の観覧者数を確保することを目指して決めました。			